

開催主旨

多くの生産現場では、毎日の品質管理活動にもかかわらず、【不良流出・顧客クレーム】が減らずに依然として困っています。

そして、現場で発生する品質問題は高度な技術理論や手法が必要となるケースは稀で、ちょっとしたポカミス・モレなどに起因することが圧倒的多数です。

なぜ、「品質管理活動を推進」しても、こうした「ポカミスが無くならない」のか？

その理由は従来型の品質管理活動では「ポカミスの発生要因が「見えず」、対策がモグラたたきになっているから」です。つまり、【発生要因をきちんと特定し、対策を打てば】ポカミスをゼロにすることができます。

本セミナーでは、講師が実際のコンサルティングで解決した1万超の事例を分析、**不良発生や顧客クレームにつながるポカミスの要因を20に定義し、4つの考え方で20の対策を実施します。**

「ルールがない」「ルールの不備」「ルールを守らない」「うっかり」という4つのモードにわけ具体的に現場で使える対策を行います。

- ・知らなかったこと（ロスコスト）を知らせる
- ・今の時代にあった教育・訓練のしくみの整備
- ・記憶ミス、入力ミス、判断ミス、伝達ミスの対策
- ・IT（AI：画像認識、音声認識）の活用
- ・ポカミス教育（現場の鉄則を教える）
- ・日々対策（要因を覚える→見つけられる→普段の生産でも気をつける）

本セミナーにより、モグラたたきのポカミス対策から脱却し、ぜひ、ポカミスゼロの現場を実現して下さい。



進呈！（講師著書）

講師

株式会社ロンド・アプリウェアサービス **中崎 勝氏**

【略歴】1981年、ブリヂストンに入社。設備設計と保全業務に従事。1987年に日本DECに移籍し、システム及びAIの開発に従事。1992年、ロンド・アプリウェアサービスを設立。製造業を中心としたコンサルティングで多くの成果を上げる。不良ゼロを可能にする実践アプローチにもとづく指導方法に定評があり、国内メーカーに加え、海外メーカーなどでも大きな改善効果を上げている。また、ものづくりに特化したIoT/AIセミナーも数多く実施しており、改善とIoT/AIを融合したこれからの時代の新手法を提案している。

プログラム

1. ポカミスゼロへのアプローチ

- 1-1 ポカミスとは
 - ・ポカミスがなくなる理由
 - ・ポカミス・20の要因
 - ・20の対策と4つの考え方
- 1-2 知らなかった対策
 - ・NG/OKシートの作成
 - ・ポカミスに対するルール決め
 - ・ポカミスをロスコストで把握する
 - ・ポカミス教育
 - ・報告書の改定
- 1-3 ルールを守らせるための施策
 - ・なぜルールを守らないのか
 - ・標準を整備する
 - ・教育・訓練のしくみづくり
 - ・計画的な人材育成
- 1-4 うっかり対策
 - ・記憶の限界
 - ・記憶ミス ・入力ミス ・伝達ミス
 - ・ポカミスにおける整理・整頓の意味
 - ・集中力マネジメント
 - ・作業者思いの改善
- 1-5 限界作業対策
 - ・AIによる自動外観検査
 - ・AIアドバイザー

・AI音声認識の活用

1-6 ポカミス日々対策

2. 実践2Sへのアプローチ

- ・ポカミスにおける整理・整頓の意味
- ・更地化：短時間効果的实践法

3. 標準整備へのアプローチ

- 3-1 標準の実態
- 3-2 標準を改善する
- 3-3 標準整備の7ステップ

4. ビデオ標準作成へのアプローチ

- 4-1 教育・訓練の実態
新たな教育・訓練のしくみづくり
- 4-2 ビデオ標準で標準遵守、多能工化、技能伝承をスピーディーかつ確実に
- 4-3 ビデオ標準作成の7つのポイント
- 4-4 ビデオ標準教育・訓練運用ポイント

5. モラルアップへのアプローチ

- 5-1 モラルとは
実態：日本人は低いという事実
- 5-2 モラルアップ8つの施策
- 5-3 尊敬される上司になる
- 5-4 人は環境の生き物